

五右衛門風呂 利用のしおり



戦後しばらくはこの家庭にもあった五右衛門風呂ですが、今は懐かしい文化的遺産となってしまいました。

雑草の森の五右衛門風呂は、屋外（森のおふろの北側）にあります。緑に囲まれ、野鳥の声を聞きながら入るおふろは最高。子どもたちも興味津津です。

五右衛門風呂へは、「テラス」又は「森のおふろ」から渡り板（スノコ）を使って行くことができます。また、お湯は、森のおふろの「シャワー」からホースを使って流し入れます。

施設案内



渡り板①



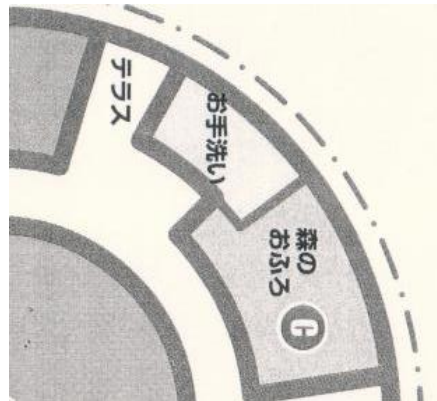
散水栓③



ホース④



投光機⑤



⑨コンセント

②給湯蛇口



⑥給湯ホース



⑦ガス給湯リモコン



⑧シャワー（給湯口）



準備作業

- (1) 散水栓にホースを繋ぎ（ワンタッチ式）、風呂釜を洗い流します。
- (2) 風呂釜に「風呂栓」をします。（栓は事務室にあります。）
- (3) 渡り板（スノコ）を並べて敷き、通路をつくります。
- (4) 森のおふろの「ガス給湯リモコン」のスイッチを入れます。
- (5) シャワー（給湯口）に給湯ホースを繋ぎ（ワンタッチ式）、蛇口を「シャワー」にした後、赤いコックを開きます。（給湯ホースと平行にします。）
- (6) 給湯蛇口から、風呂釜にお湯を入れます。（熱いときは散水栓から水を入れます。）
- (7) お湯がいっぱいになったら入浴OKです。



入浴体験

- (1) 日没後に入浴する場合は、テラスのコンセントと投光器を延長コードで繋ぎ、投光器で五右衛門風呂と通路を照らします。投光器を使用する際は、センター職員にお申し出ください。
- (2) 五右衛門風呂に不慣れで体重の軽い幼児にとって、「底板」を沈めて使うことは難しいかもしれません。
- (3) 五右衛門風呂の周りの石に注意しましょう。濡れた通路で滑らないように注意しましょう。

後片付け



- (1) 風呂釜は、栓を抜き、水で洗い流した後、「ふた」をしてください。栓は事務室にお返しください。
- (2) 渡り板（スノコ）は、下にレンガを敷いて、軒下（壁）に立て掛けてください。底板も軒下に立て掛けてください。（風雨にあたりと傷みが早くなるので）
- (3) 散水ホース、給湯ホースは、蛇口（給水口）から外し（ワンタッチ式）、巻いて元の場所に掛けてください。